



小樽南ロータリークラブ会報



1960年創立
昭和35年2月5日

32

2019年3月15日発行
通巻 第2866号

●本日3月15日金のプログラム

◆スピーカー：斎藤会員
卓話「畔柳二美と私」

●来週3月22日金のプログラム

◆休会

●再来週3月29日金のプログラム

◆スピーカー：石川 湧也 氏

●2018-2019年度 IRテーマ



インスピレーションになる

2018-2019年度 RI第2510地区重点課題

- 組織を活性化しよう
- ロータリーの認識・理解を深めよう
- 地域社会との関わり合いを深めよう

- 例会場/ニュー三幸
- 例会日/毎週金曜日12時30分
- 事務局/〒047-0032 小樽市稲穂1-3-6 TEL.0134-33-3500
- Club Homepage URL <http://rid2510.org/otarusouth/>

●第31回例会報告(3月8日金)「大先輩会員・若手会員対談卓話」見延会員 湊会員

◆ロータリーソング【日も風も星も】

◆ゲスト・ビジターの紹介

大川 久美子 様 (小樽RC)
キム・インヨン さん (米山奨学生)

◆会長報告【工藤会長】

先日、小樽商工会議所主催の講演会が小樽経済センターで開催され、講師に詩人で、随筆家・翻訳家でもある、アーサー・ビナード氏が講演されましたが、小樽南RCが「金賞」で後援している「ポエムコンクール」の「工藤直子賞」の選考委員長に、アーサー・ビナード氏が決定いたしました。

◆幹事報告【湊幹事】

- 3月22日(金) 例会は「休会」です。
- 4月12日(金) 例会は 移動例会となります。
場所：オーセントホテル2階 オーセントルーム
点鐘 12:30～

詳細につきましては、本日FAXにて「移動例会」のご案内いたします。当日、友好クラブ、横浜中RCの数名の方々もご出席予定となっております。

◆結婚祝【3月結婚記念日を迎える会員】

- 3/3 荒井会員
- /6 地山会員
- /23 板垣会員



いつまでもお幸せに

◆米山奨学金授与【工藤会長】

キム・インヨンさん (米山奨学生)

例会に遅れまして大変申し訳ありません。就活が今月から解禁になりまして様々な企業様への訪問でバタバタしておりました。今日もこれから東京へ飛ぶ予定ですが これからも宜しくお願いします。



◆出席委員会

平成31年3月8日(金)

会員総数 65名 本日の欠席者 16名
荒田、石川、岡崎、斎田、佐藤(公)、佐藤(喜)、白石、鈴木、高木(成)、高橋、地山、濱本、堀内、前川、宮川、村越

平成31年2月23日(土)

移動例会につき 確定出席率 100%
メーカー
3/2 濱本 (花園村会)

まごころ箱

湊 会員 「大先輩卓話」プログラム一緒させて頂き見延会員有難うございます。
(こういう時…こまかいお金が無くて泣く泣く泣く…)

福島会員 孫2人 高校と大学入試合格!! 林 会員 夫人誕生日。板垣会員 結婚祝。

松尾会員 二週にわたり、「大先輩会員卓話」有難うございました。
大変勉強になりました。重ねて有難うございます。

工藤会員 大川様 (小樽RC) お出でいただき有難うございます。

荒井会員 結婚祝。ありがとうございます。 田中会員 夫人誕生日。

坂口会員 チ～ン1回目!チ～ン2回目!!思ったほど…(チ～ン)!!少なかったので助かりました!!

京谷会員 夫人誕生日。妻も60歳になります。 松浦会員 お先に失礼。

まごころ箱 入金集計額

(H30.7.6～H30.3.8)

3月8日分 31,000円

合計 813,500円

いつも有難うございます!

大先輩会員・若手会員対談卓話

見延 会員・湊 会員

司会：林会員・松尾会員

今回も、佐藤友美会員の「独断と偏見」により 司会者の質問の仕方とか「答え」が少しそぐわない感！があった時！途中「呼び鈴」で注意を促し、その都度松尾副委員長よりお詫びの「ニコニコ」を入れさせていただけます。



質問事項

- ①あらためて、簡単な自己紹介（家族構成、好きな食べ物、趣味、特技）をお願いします。
 - ②入会当時の（小樽南）RCはどのようなものでしたか。現在との違いはありますか。また、当クラブの活動で、印象に残っていることはありますか。
 - ③今だから言える昔の失敗談はありますか。
 - ④会員数を増やすためにどうしたらよいと考えますか。
 - ⑤々な意味で期待している会員（特に若い会員）はどなたですか。その理由も教えてください。
 - ⑥最後にお元気の秘訣を教えてください。
- 以上の「質問事項」を見延会員・湊会員へ時間の許す限り質問させていただきました。
 ☆誌面の都合上、見延会員よりの 原稿を掲載させていただきます。

1 私の32年間のロータリーライフの中で感じたこと、学んだこと

- ①私のロータリー観
32年前、入会した時に配置された「出席委員会」は委員長を中心に委員同士のコミュニケーションが非常に良く、実に楽しい委員会活動であり、ロータリーに対する認識が入会前と入会後では、難しい世界からポジティブで楽しいものに大きく変わりました。今だに、ロータリーは人間としての生き方を学び、共に人生を楽しみ、少しは社会にも良いことの出来る素晴らしい世界だと思っています。
- ②入会3年後、東京の某 RC の期末例会にメーキャップし、退任会長の挨拶から、ロータリーのリーダーシップのあり方を学びました。
ロータリーは縦社会ではなく、横並び社会です。地位とか権力とか財力で会員や組織を動かすのではなく、本人の人格識見等所謂人間力で動かすもので、そうした力が試される世界であることを学びました。
- ③私の会長年度の小樽3クラブ合同例会のアトラクションでロータリーの啓蒙活動を兼ねて、「伊奈かっぺい・トークショウ」を開催し、小樽市民会館が満員の盛況となりました。

私は自信が無かったのですが、当時のプログラム、親睦委員長の熱意で実現した快挙でした。この活動に対し、3クラブ共地区ガバナー賞を貰い、市民にも喜ばれました。

ロータリー活動をPR できたこのプログラムは今後の参考例ともなると思います。

- ④平成7年頃、地区協議会で米山奨学会常務理事であった白石バスターガバナーから「特に東南アジア地区からの日本への留学生はハングリー精神に富み、経済的に困難と闘いながら如何に勉強に励んでいるか、ロータリアンこそ彼らを救うことの出来る素晴らしい組織だ。」と熱い講演を聴き「米山記念奨学制度」に開眼しました。
その後今日まで9人の奨学生のお世話を小樽南 RC で行っていますが、民間親善団体としてロータリーは非常に大きな役割を果たしていると思いますし、素晴らしい奨学生との出会いにも恵まれ何人かの米山学友は私達の宝となっています。

- ⑤酒田 RC との姉妹盟約の提携。
かつて酒田と小樽は日本海交易の北前船で結ばれた歴史的背景を踏まえ、酒田 RC と小樽南 RC は相互交流を深めようと2001年（H13年）に姉妹クラブ盟約を締結し、今日まで19年間の間で19回の相互訪問を重ね、東北人の人情の機微、暖かさに触れ多くのことを学んできました。
「不易と流行」と云う言葉もありますが、親善友好の基本理念は変えることなく、然し交流のあり方等は時代の変化に対応して弾力的に変え、両クラブの発展に役立てて行きたいものです。

2 会員を増強する為の方法

- ①魅力あるクラブ作りを心がけることが大切。商品価値を高める。
ロータリークラブに入るなら、小樽南 RC へ入りたいと云う位の魅力あるクラブ作り。
- ②女性会員の精力的募集
クラブの目玉活動の設定～ 幼児教育に的を絞った社会奉仕活動を目玉にする等、女性に入会魅力を感じさせる政策の設定。福島県に女性だけの「いわき桜 RC」があります。 要研究。
- ③期待している会員
近年の幹事は会員層は新しくても手際よく良くやっているなと感心している。
新しい人、若い人の新しい発想と行動力に期待したいし、潜在能力のある人は多数居ると思う。
新しい人に「任せる」そして我々年寄りもしっかり「バックアップする」。
クラブ内で力を余している人は積極的に地区役員に向出するとより活躍の場が広がる。
- ④元気の秘訣
「アルコールはやめて、ゴルフ」と言いましたが、これは脱線。
生きる姿勢～前向き積極的姿勢で生きる。 米山さんの前向きな発想姿勢は模範。
良く食べ、適度の運動。

今日は「年寄り若手の卓話」でしたのに、年寄りの喋りすぎで若手の発言チャンスまで奪ってしまい、ごめんなさい。いずれ、若手ホープ湊さんの卓話をじっくり聞かせてください。